

# 「真っ白」なもの

明けましておめでとうございます。1月といえば、一年のうちで最も寒くなる時季ですね。

そこで、今月与野図書館の一般展示コーナーでは白い風景をはじめとして、蛍光灯・白いシャツ・白い食べ物・雪山・白に関連した小説などを取り揃えました。なかでもおすすめの3冊を紹介します。



## 姫路城(地図で旅する日本の世界遺産 第8巻)

東京地図出版 2008年

わが国初の世界文化遺産に登録された姫路城。その白壁の美しさから「白鷺城」とも呼ばれ、壮大な城郭建築にはまるで観るものを圧倒するような威厳を感じます。

本書は、白鷺城の歴史や城内の特徴についての解説はもちろん、城下町姫路の歩き方や城とゆかりのある人物にも焦点が当てられています。さらに、姫路市内のどこから眺めるかにより全く異なる趣をみせる城の表情も紹介されています。一つの「真っ白」なものであっても何通りもの見方ができることの面白さに、きっと気付くでしょう。

豊富な写真や絵図が好奇心をより一層掻き立ててくれます。普段あまり旅行しない方にとってはつい行きたくなる、そして一度訪れたことがある方にとっても再発見があり再び訪れたい気持ちになるはずです。



## いつか白球は海へ

堂場瞬一／著 集英社 2004年

東北の小さな港町にある間島水産。大学卒業後プロ野球の道へ進むか迷っていた海藤敏は、社長からの熱烈な誘いによって社会人チームの間島水産野球部に入部するものの、社長は心臓発作で急逝してしまいます。当初野球に専念するはずでしたが、通夜の受付が海藤の社会人初仕事となりました。経営危機に陥っていた会社からは、さらに追い打ちをかけるように部の解散が宣告されてしまいます。そこにはかつて全国優勝を果たした野球部の面影はなく、栄光は完全に過去のものとなっていました。

そんな中、生前間島社長と親交があったというセメント会社の社長が現れ、部の引き受けの申し出があります。希望の光が見えたように思えた海藤たちでしたが、そのために提示されたのは「再び全国大会に出場する」という困難な条件でした。

脱力感に襲われ目標を失いかけていた海藤の、全国大会出場へ向けて再び白星を積み重ねるため挑戦する日々が始まりました。各チームメイトが歩んできた過去を必死に理解し共感するなかで信頼関係を築き、左肩の痛みを抱えながらも強い意志で乗り切ろうとする海藤の雄姿にはきっと感銘を受けるはずです。



# 頭が真っ白になりそうな時、さらりと切り返す話し方

赤羽雄二／著

ベストセラーズ

2015年

皆さんは、突然想定外の質問を受けて頭のなかが「真っ白」になった経験はありませんか。そんな時でも、機転を利かせてスマートに切り返せたらコミュニケーションがさらに楽しくなりそうですね。

本書は、常に冷静な対応ができるように日頃の物事の考え方や心構えについて、ポイントごとに的確かつ簡潔に説明しており一気に読み進めることができます。共感できることや意外に思えることなど数々の気付きに触れながら、少しの準備が大きな心の余裕を生み自分の言いたいことが言えるようになったと確信したところで、最後のページを閉じることでしょう。

学校でのゼミナールや研究発表、就職活動での面接や会社でのプレゼンテーションなど、発言を迫られる様々な場面で多くの方が実践できる秘訣が凝縮された一冊です。

## こんな本もあります

タイトル	著者名	出版社	出版年
世界の雪景色	海野弘／解説	パイインターナショナル	2014
絵とき白色LED基礎のきそ	臼田昭司／著	日刊工業新聞社	2010
画用紙でつくる白い立体切り紙—インテリアを飾る、3Dペーパー・アート—	ピボン／著	グラフィック社	2015
白い服・黒い服—格好いい大人のスタンダード&クラシカル—	渡部サト／著	河出書房新社	2007
一流の人の歯は、なぜ白いのか？	植木ゆかり／著	自由国民社	2015
頭のよい子の家にはなぜホワイトボードがあるのか	四十万靖／著	主婦と生活社	2007
白玉屋新三郎の白玉レシピ	白玉屋新三郎／著	パルコエンタテインメント事業部	2014
「雪見だいふく」はなぜ大ヒットしたのか—77の「特許」発想法—	重田暁彦／著	講談社	2008
白いお菓子	柳瀬久美子／著	主婦と生活社	2007
白いインテリアが上手につくれる本—小さな家・マンションのためのLiving idea—		主婦と生活社	2006

最後までお読みいただき、ありがとうございました。冬が好きな方も苦手な方も、どうぞ新年を楽しく健康にお過ごしください。本年も資料展示を通じて楽しい本・面白い本などを紹介し、足を運びたくなる身近な図書館を目指します！

なお、ここで紹介したなかには貸出中または与野図書館に置いていない本もあります。予約や取り寄せを承りますので、その場合は職員へお気軽にお申し付けください。

**編集・発行** さいたま市立与野図書館

〒338-0002 さいたま市中央区下落合5丁目11番11号

TEL 048-853-7816 FAX 048-857-1946

(2018年1月発行)

